

KÄRCHER

ドライアイスブラスター IB 10/15 L2P Advanced 取扱説明書



この度は、ケルヒャー商品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

59793230 202407

目次

安全上の注意	3～10
仕様	11
標準装備品	12
各部名称	13
ディスプレイ内容説明	14
準備	15～16
作動	17
作業終了、移送	18
メンテナンス	19
インジケータランプ説明	20
トラブルシュート	21～22
修理	23
ユーザー登録・保証	24～26

1. 安全上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると「死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または、物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

洗浄は自己責任において行うこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損等が生じた場合、もしくは、正しくは、操作をせずにヤケドやケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の警告



本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。



ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。



改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。機能を十分に発揮しない場合が商事、思わぬ自己の元になる事があります。



人体に向けて機械を使用しないこと
人体に向けてドライアイス・圧縮空気をかけないでください。皮膚の裂傷、失明、難聴になる場合があります。



作業に適した服装、防具、マスクを身につけること
事故の回避、ケガの防止のため装着してください。



危険物のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。



火気のそばに置かないこと
本体が変形し発火の原因になる場合があります。
液化炭酸ガスボンベが高温になり、安全弁が開き、中のガスが排出される可能性があります。



汚染された可能性のある場所・物を洗浄する場合は汚染物質に適合したマスクなどの適切な防護具を身に着けること 汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



ご使用時の警告



二酸化炭素による窒息の危険

作業中は、作業場の空気中の二酸化炭素濃度が上昇します。
作業場で十分な空気交換が行われるようにしてください。

排気ホースを屋外に敷設するなどして、二酸化炭素によって危険にさらされる人がいないようにします。

注意: 二酸化炭素は空気より重いです。
二酸化炭素が低地に沈むようにしてください。

屋内で使用する場合は換気設備の整った場所で使用すること
二酸化炭素中毒になる恐れがあります。
長時間のジェット作業(1日10分以上)や、特に狭い部屋(300 m³未満)
では、二酸化炭素警告装置の着用をお勧めします。

二酸化炭素の空気中の濃度が 3～5%の場合
頭痛・息切れなどの症状に陥る場合があります。
二酸化炭素の空気中の濃度が 7～10%の場合
頭痛・吐き気・意識不明に陥る場合があります。

これらの症状が出た場合は直ちに作業を中止し、新たな空気を吸ってください。



ご使用時の警告



ドライアイスやノズルなどの機械の冷えた部分を直接触らないこと
低温ヤケドをする恐れがあり必ず防護具の上から触れてください。



ゴーグルを着用すること
ドライアイスペレットが目に入りケガをする恐れがあります。



防音保護具を着用すること
聴覚障害を引き起す恐れがあります。



長袖・長ズボンの防護具を着用すること
ドライアイスペレットや汚れが飛散し、ケガをする場合があります。皮膚が隠れる作業着を着用してください。



質量が軽い対象物は固定して洗浄すること
洗浄中に対象物が飛散しケガをする場合があります。



周囲の安全に気を配って使用すること
ガンを握る瞬間反動があります。
周囲に気を配りガンをしっかり握ってください。



修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
個人の修理は事故のもとになる恐れがあります。



電気に関する警告



電源プラグは確実に差し込むこと
コンセントに接続したときに、ゆるみやガタつきがある場合、ショートし発火する恐れがあります。



交流 220V 単相電源専用(50Hz、60Hz共用です。)
異種電圧で作動させた場合、火災の原因となります。
ラベルに記載された周波数でご使用ください。
(100V→220V)のトランスを同梱しております。
100Vで使用する場合は、トランスを間に正しく接続ください。



延長コードは 15 アンペアの規格品を使用すること
電源コードを延長して使う場合は必ず 15A 仕様の延長コード
(10 m)を購入してご使用ください。
規定以下の商品を使用した場合、電源コードやプラグが壊れ、発火の原因になります。
必ず標準のケーブルより太いものを10 mまでで使用してください。10 m以上は延長できません。コードリールは使用できません。



電源ケーブルに異常がある場合は使用しないこと
折れ曲がり、プラグの変形、プラグの歯の折れ曲がり、ケーブルのつぶれなどがある場合は使用しないでください。発火、感電することがあります。



タコあし配線はしないこと
複数の電気製品を同じコンセントで使用した場合、ブレーカーがショートする場合があります。



アースをすること
アースがない場合は販売店に依頼し、第3種接地工事をしてください。水道管、ガス管、電話線、避雷針のアースには絶対に接続しないでください。



漏電ブレーカーを設置すること
安全確保のため漏電ブレーカー(30mA)を設置してください。



注意



ノズルの取り替え時はガンのトリガーを放すこと
ノズルを取り替える場合はガンのトリガーを放してください。
レバーを握った状態で変更すると接続部が壊れる場合があります。



エアークンプレッサーはデモにてご確認頂いた時のエアータ同等以上のものを使用すること
弱いエアークンプレッサーを使用した場合、圧が出なかったり、機械が正しく動作しない場合があります。



メンテナンスを行う場合は、電源を切ること
感電する恐れがあります。



洗浄対象物にアース線を接続すること
洗浄対象物に静電気が蓄積される場合があります。
※当製品は防爆エリアでは使えません。



グリースやオイル類は、液化炭酸ガスの本体との接続ホースやコネクタに使用しないでください。
ドライアイス生成の妨げになります。



300m³ 未満の小さい部屋で 10 分以上、ドライアイス洗浄を行う場合は、二酸化炭素濃度計をつけて作業してください。



本体のケースは、メンテナンスの目的で、ケルヒャーのエンジニアによってのみ、取り外し可とします。



注意

ガスボンベの取り扱いに関して

- ・ガスボンベは、お客様の方で取り寄せてください。
- ・ガスボンベは、サイフォン付きのものでないと使えません。
必ず、サイフォン付きのものを準備してください。
- ・ガスボンベは、必ず30kgの容器を準備してください。
- ・ガスボンベは立てて保管する折は、必ず2か所紐で柱などに縛って、倒れないようにしてください。
- ・ガスボンベは、上から物が落ちてきてぶつかるような事がない場所に保管してください。
- ・ガスボンベは、直射日光には当てないでください。
40℃になると安全弁が開き、中のガスが噴き出します。
(30℃以上ですと、ドライアイスの生成率が著しく悪化します。)
- ・ガスボンベの貯蔵方法に関しては、一般高圧ガス保安規則をご参照ください。

圧縮空気に関して

- ・圧縮空気接続ホースに水分が流入すると瞬間凍結し、使用を続けた場合内部が損傷します。必ず大型のウォーターセパレーターを取り付けてください。
- ・特にエンジンコンプレッサーはドライヤー(水分を除去する装置)が未搭載ため水分が流入します。
- ・工場配管に接続する場合、ドライヤーが作動しているか確認してください。安全のため配管側供給口にウォーターセパレーターを取り付けてください。

⚠ 本体のマーク説明

(機械に同様マークがあります。)



洗浄対象物が静電気を持つリスクがあります。
洗浄が終わるまで洗浄対象物をアースにつなげてください。



ドライアイスは -79° です。ドライアイスやドライアイスにより凍ったパーツは触らないようにしてください。



ガスボンベが倒れて挟まれてけがをしないように注意してください。ガスボンベは立てて保管する折は、必ず、2か所紐で柱などに縛って、倒れないようにしてください。



洗浄中は、保護眼鏡を着用してください。



洗浄中は、保護手袋を着用してください。



洗浄中は、長袖、長ズボンの防護服を着用してください。

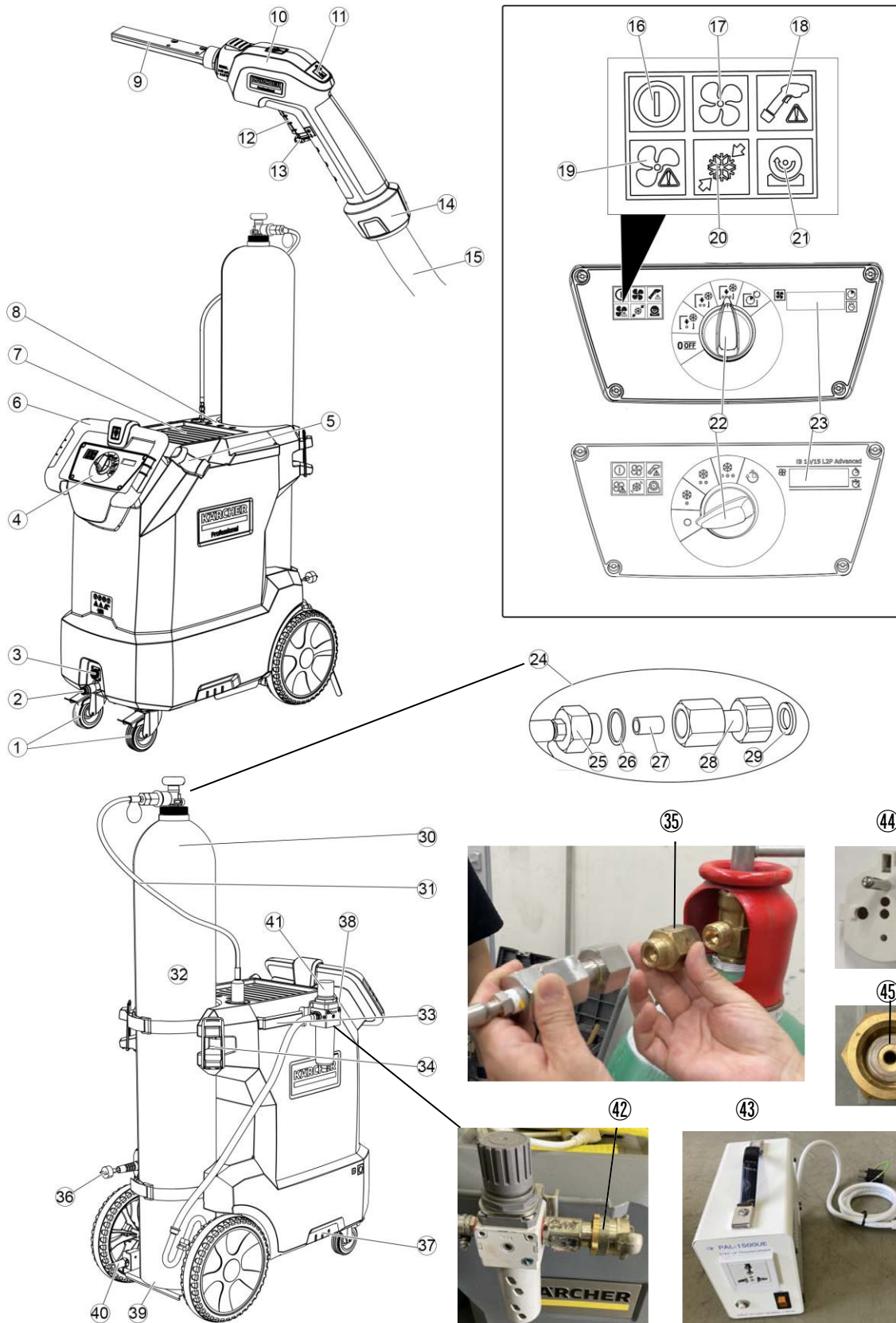


グリース、オイル、その他潤滑油は、ノズルや、ガスボンベのオネジに塗らないでください。

仕様

動力	単相 220~230V ※同梱の変圧器使用で単相100Vで使えます。
ミキサーモータ出力	1.1kW
最低必要作動空気圧	Level 1 : min 0.07MPa Level 2 : min 0.14MPa Level 3 : min 0.28MPa
最大供給圧力	1.0MPa
駆動可能エア一圧	0.07~1.0MPa
最大空気流出量	1.55m ³ /分
質量	85kg
長さ×幅×高さ	866×443×970
騒音値	95dB
液化炭酸ガス供給元	サイフォン付き液化炭酸ガスポンベ
液化炭酸ガス消費量	20~60kg/時

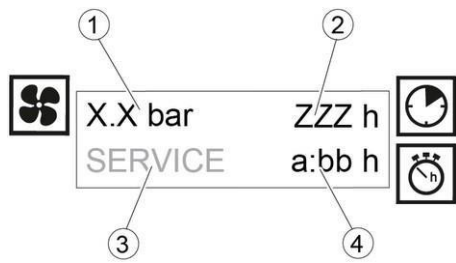
標準装備品



各部名称

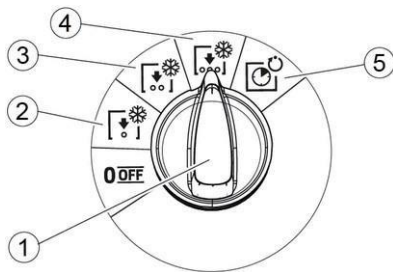
- ①前輪(ロック付き)
- ②ブラストホース接続口
- ③コントロールケーブル接続口
- ④操作パネル
- ⑤ガンフォルダー
- ⑥押し出し用ハンドル
- ⑦物置きエリア
- ⑧ノズルフォルダー
- ⑨ノズル
- ⑩ガン(部品番号4.574-115.0)
- ⑪ドライアイス ON/OFF
(キー OFF の時赤く点灯)
- ⑫トリガー
- ⑬安全ロック
- ⑭保持コーン
- ⑮ブラストホース
- ⑯制御電圧インジケータ(緑点灯:正常)
- ⑰圧縮空気インジケータ(緑点灯:正常)
- ⑱ガンインジケータ
(黄色点灯:ガンを握って電源オン)
(黄色点滅:ガン接続不良)
- ⑲圧縮空気エラーインジケータ
(圧力が低すぎる)
(中の圧力が高すぎる)
- ⑳ペレット生成インジケータ
赤点灯:生成モータが正常回転していない。
- ㉑ミキサーインジケータ
赤点灯:ミキサーのモータ正常回転していない。
赤点滅:ミキサーのモータが発熱
- ㉒ダイヤルスイッチ
- ㉓ディスプレイ
- ㉔ボトルコネクション
- ㉕スクリュープラグ
- ㉖O-リング(銅) 部品番号:4.574-103.0(㉗とセット)
- ㉗二酸化炭素フィルター 部品番号:4.574-103.0(㉖とセット)
- ㉘接続アダプター
- ㉙O-リング(ボンベ側) 部品番号:6.574-332.0
- ㉚サイフォン付き液化炭酸ガスボトル
- ㉛CO2 供給ホース
部品番号:6.574-315.0
- ㉜ボトル保持ベルト
- ㉝保持レール
- ㉞ホース/ケーブルホルダー
- ㉟ボンベ変換ネジ
部品番号:3.137-350.0
- ㊱電源コード、電源プラグ
- ㊲ハンドル
- ㊳圧縮空気接続口
- ㊴ボンベ置き場
- ㊵二酸化炭素排出ホース
- ㊶レギュレーター
- ㊷カプラ 部品番号:6.463-093.0
- ㊸トランス 部品番号:3.137-351.0
- ㊹電源プラグ変換アダプター
部品番号:3.137-363.0
- ㊺ナイロンパッキン
部品番号:3.137-394.0

ディスプレイ内容説明



- ①作動空気圧
- ②トータル作業時間
- ③次回点検目安
- ④最後にリセットしてからの時間

図 1



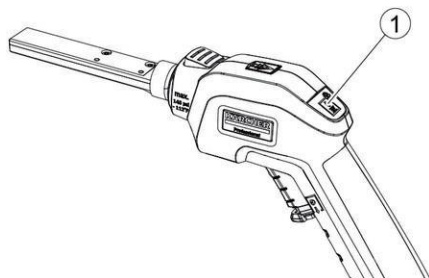
ディスプレイ右下の時間のリセット方法

1. ダイヤルスイッチを図 1 の⑤にあわす。
2. 図 2 のドライアイス

ON/OFFキーを押す。

すると、ディスプレイ表示が 0 になります。

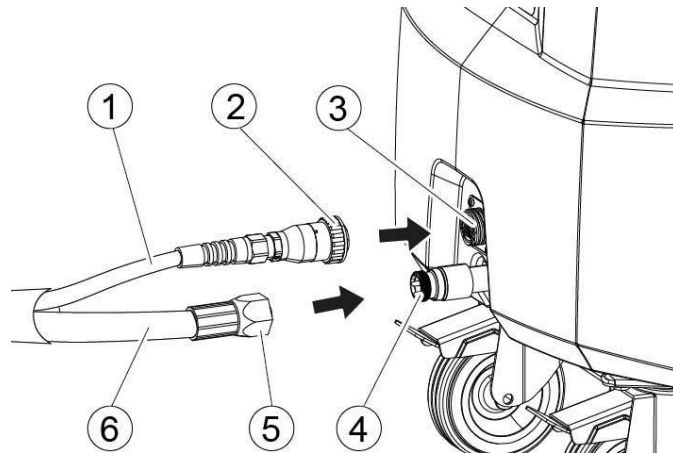
図 2



準備

ブラストホースの接続

1. 機械を平らなところにおいてください。
2. 前輪をロックしてください。
3. ブラストホース⑥をブラストホース接続口④に接続しナット⑤をしめてください。
4. ブラストホースのコントロールケーブル①をコントロールケーブル接続口③に接続し、ナット②をしめてください。



液化炭酸ガスポンベの接続

※液化炭酸ガスポンベは、サイフォン付きでなければ使えません。

1. 液化炭酸ガスポンベを本体のポンベ置き場においてください。
ボトルカートに液化炭酸ガスポンベをのせ、ボトルカートの前方をボトル置き場にのせ、その後、ボトルを回転させながら移動して、設置してください。
2. 2つのボトル保持ベルトで液化炭酸ガスポンベを縛って、倒れないように固定してください。
3. ガスポンベにポンベ変換ネジを接続してください。(注意:ポンベ変換ネジとポンベの間に必ずナイロンパッキンがあることを確認してください。)
4. 本体側の二酸化炭素ホースのOリングが正常化確認後、ポンベ変換ネジに接続してください。
5. 取り外す折は、二酸化炭素ホースがねじれないように二酸化炭素ホースのネジをポンベ変換ネジから外し、その後、ガスポンベ変換ネジをポンベから外してください。
ねじれは破損の原因になります。



周囲温度が高くなれば高くなるほど、ペレットの生成効率は変わります。極力低い気温になるようにしてください。31℃以下でなければ、ペレットが生成されない場合があります。

また、直射日光に液化炭酸ガスポンベや機械本体を当てないようにしてください。

液化炭酸ガスポンベは、40℃を超えると安全弁が開き、中の液化炭酸ガスが全て抜けてしまうので一酸化炭素中毒を引き起こす可能性があります。危険です。

準備

エアークOMPレッサ-との接続

1. レギュレータを本体横の保持レールに取り付けてください。



2. 工場のエアー、もしくはコンプレッサ-のバルブを閉じてください。

3. エア-ホースを本体と工場エア-配管、もしくはコンプレッサ-に接続して下さい。

4. 工場エア-、もしくは、コンプレッサ-のバルブを開いてください。

※コンプレッサ-は、オイルフリー、アフタークーラー付き、ウォーターセパレータ付きのものを選定してください。

電気の接続

本体の仕様は、単相220Vです。AC100V→AC220Vに変換するトランスを同梱しており、まず、トランスをAC100Vのアース付きのコンセントにさしてください。



AC100Vのプラグ
必ずアース端子もつ
ないでください。

トランスの2次側AC220Vのコンセント

本体の電源プラグに電源プラグ変換アダプターを接続してください。



トランスの2次側AC220Vのコンセントに、電源プラグ変換アダプターをとりつけた後の本体の電源ケーブルをさしてください。

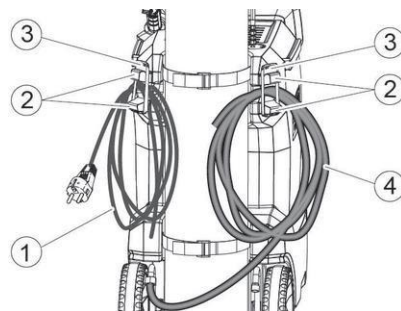
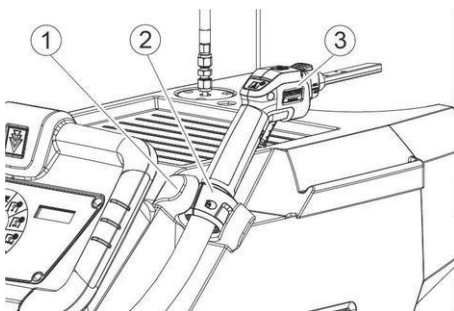
作動

1. 作業中に人が作業現場に入っていないように周囲に十分注意してください。
2. 限られた空間で作業する場合は、二酸化炭素の濃度が上がらないように十分な換気を行ってください。
3. 軽い洗浄対象物は、洗浄時に飛ばないように、しっかり固定してください。
4. ドライアスを吹き付けると洗浄対象物に静電気が発生することがあります。
その場合は、洗浄対象物はアースにつけてください。
5. 保護具、保護手袋、保護メガネ、防音保護具をつけてください。
6. エアー配管、もしくは、エアーコンプレッサーのバルブを開いて、エアーを本体に供給してください。
7. 液化炭酸ガスボンベのバルブを開いて、液化炭酸ガスを本体に供給してください。
8. ダイヤルスイッチを Level1 ~ 3 にあわせてください。
9. トリガーガン握り、洗浄を開始します。
ガン握る瞬間反動があります。バランスを崩さないよう安全な立ち位置を確保してください。



作業終了

1. ガンを握るのをやめる。
2. 液化炭酸ガスボンベのバルブを締める。
3. ガンをもう一度握る。中に残っているペレットを出し切るため。
4. エアの供給をとめる。
5. ガンをもう一度握り、中に残っているエアーを出し切る。
6. ダイヤルスイッチを OFF にする。
7. 電源プラグをぬく。
8. ブラストホース、電源コード、二酸化炭素排出ホースを撤いて、本体に収納 以下、収納写真参照

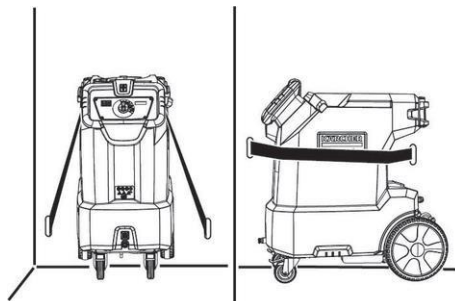


移送する場合

本体を移送する際は「作業終了」の項にある処理を全て行ってから移送します。本体は、水平な状態で移送してください。横にすると次回の作業時に本体にダメージを与えます。

移送用車両に本体を載せる場合、液化炭酸ガスボンベを本体から外してください。前輪をロックします。

ロープなどで本体を車両に固定します。



メンテナンス

メンテナンススケジュール

頻度	箇所	チェック項目	手順
常時	ブラスト ホース	折れ、損傷、劣化	ホースに損傷・劣化がある場合 新しいホースに交換してください。
	電源コード	損傷・劣化	損傷・劣化がある場合はケルヒヤー サービスエンジニアに交換を依頼して ください。
100 作 業時間 ごと	カップリング	損傷・破れ	ブラスティングホースの接続部に損傷 ・破れがある場合はホースを交換 カップリングに損傷がある場合は交 換してください。
	ミキサー	損傷・もれ	ミキサーに損傷やもれる箇所がない か確認してください。問題がある場合 はケルヒヤーサービスエンジニアに交 換を依頼してください。
	アタッチメント	損傷	アタッチメントに問題がないか確認して ください。
1年また は 500 作業時間 ごと	ケルヒヤーサービスエンジニアに点検を依頼してください。		
2年ごと	ブラスティングホースを交換してください。		

トラブルシューティング(インジケータランプ)

インジケータ	原因	対策
ガンインジケータ 黄色く点灯	トリガーガンを握った状態で電源を入れるとでる。安全のため。	トリガーガンの握りを解除し、再度電源を入れなおす。
ガンインジケータ黄色く点滅	ガンが接続されていないか、制御線の接触が不十分。	ガン、プラスチックホースの制御線が本体に接続されている事を確認する
圧縮空気インジケータ が赤く点灯	エア圧が低すぎる	エア圧を上げる。
圧縮空気インジケータ が赤く点滅	本体中の圧力が高すぎる	二酸化炭素排出ホースの詰まりを確認する。 ポンペが高温になり、その為、高圧になる。直射日光の当たらない涼しい場所に映す。
ドライアイスペレット生成 インジケータ 赤く点灯	ドライアイスペレット 生成モータが正常回転していない	ポンペのバルブを閉じて、30分待つ。電源を入れなおす。エラーが継続する場合、CO2タンクを変える。それもでエラーが出る場合はカスタマーサービスに連絡する。
ドライアイスペレット生成 インジケータ 赤く点滅	コンプレッサーモータが高温になっている。	コンプレッサーモータを冷やす。
ミキサーインジケータ 赤く点灯	ミキサーのモータが正常回転していない。	電源を入れなおす。なおらない場合は、カスタマーサービスに連絡
ミキサーインジケータ赤く 点滅	ミキサーのモータが発熱	電源オフしてモータを冷やす。必要に応じてカスタマーサービスにコンタクト
制御電圧インジケータが 光らない	電源が入らない	本体スイッチを切り、少し待ち 再度スイッチを入れる。コンセントの電圧をチェック
圧縮空気インジケータが 点灯しない。	圧縮空気がきていない	エアコンプレッサーのバルブが開いているか確認。エアホース接続確認。

トラブルシュート

トラブル	原因	対策
スイッチを入れたがディスプレイが表示されない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントへ接続
ガン握っても圧縮空気が出ない。	設定圧力が低すぎる	設定圧力を高くする
	電源が入っていない	電源を確認
	ホース、ガン内部の凍結	ホース、ガンを常温にし戻し自然解凍する。
	コントロールケーブルが正しく接続されていない	電源インジケータが緑に点灯していることを確認
	コントロールケーブルの接続、破損	コントロールケーブルがガンと本体に接続されているか確認 破損の場合は、カスタマーサービスにコンタクトする。
圧縮空気の空気圧が弱すぎる。	コンプレッサーの圧が弱い または風量が少ない。	コンプレッサーの設定圧を高くする コンプレッサーバルブを全開にする
	ホース、ガン内部の凍結	ホース、ガンを常温にし、戻し自然解凍する。
洗浄力が弱い。	ダイヤルスイッチが低いLevelの設定になっている。	高いLevel の設定例えば、Level3 に設定する。
	圧縮空気圧が弱い。	圧縮空気圧をあげる。
	ポンベのドライアイスが空になっている。	ポンベを交換する。
	ポンベが高温になっている。	高温になるほど、ペレット生成率は低下するので、極力涼しい場所におく。
	ホース、ガン内部でドライアイスが凍っている。異物混入。	解凍を待つ。ダイヤルスイッチの設定を低くし、エア圧を上げて吐出し、異物を出す。
吐出するドライアイスペレットの量が少ない。	ダイヤルスイッチのLevelの設定が低い。二酸化炭素フィルターの寿命。	ダイヤルスイッチのLevelの設定を高くする。二酸化炭素フィルターを交換する。

修理

修理のご用命は弊社ホームページをご覧ください、申し込みフォームからご依頼ください。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。
※修理費用については予告なしに変更する事があります

お電話での修理のお問い合わせは

業務用製品コールセンター(修理受付)

受付時間 9:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日(祝日、当社休日を除く)

TEL:045-777-7410

ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。

ケルヒャー ジャパン株式会社では十分なアフターサービスを提供するために当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞

ご購入日から1年間の保証期間をご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。

＜注意＞

製造時に起因した不具合にのみ2年間の保証が適応されます。

使用に伴う劣化・損傷・故障は期間内であっても有償修理となります。

＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャージャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー(製造番号)が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N:xxxxxx の数字がシリアル番号です。

＜保証＞

保証規定については、保証書をご確認ください。

＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 業務用製品コールセンター

TEL:045-777-7410

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについてはケルヒャー ジャパン株式会社のホームページでご覧いただけます。



- 1 モーター出力
- 2 接続電源
- 3 シリアル番号(製造番号)
- 4 機種名
- 5 商品番号
- 6 製造年
- 7 質量
- 8 異物侵入保護等級 IP
- 9 バーコード
- 10 製造国

保証書

保証規定

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い無償修理いたします。本書の再発行は行いません、紛失しないよう切り取り大切に保管してください。

保証の内容

お買い上げいただいた製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、これを無償修理いたします(この無償修理を保証修理といいます)。

保証修理は部品の交換あるいは補修により行ないます。また取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

保証期間

保証期間は製品を新品でご購入いただいた日から1年です。

但しご購入から1ヶ月以内にケルヒャーユーザー登録をいただいた場合に限り、保証延長が適用され保証期間はご購入いただいた日から2年となります。

ケルヒャーユーザー登録方法は弊社ウェブサイトをご覧ください。

※温水高圧洗浄機のステンレス製ヒートコイルのみご購入日から3年間の保証となります。

保証できない事項

お買い上げ頂いた機種に該当しない事項も記載されています。

■次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。

- ・本書面その他購入時に製品に付属する説明書類(取扱説明書を指すがこれに限らない)に反する使用
- ・保守整備の不備または使用方法の間違い(日常点検をしていない場合)
- ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用(例:電力異常による損傷、燃料異常による損傷、凍結させた場合の損傷、ホースの亀裂など)
- ・弊社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意によるケガおよび故障

■次に示すものは保証修理いたしません。

- ・消耗品(油脂、ノズル、リング、パッキン、バルブ、ホース、ベルト、ギア、ブラシ、パッド、バッテリー、タイヤおよびこれらに類する消耗品)
- ・経年変化により発生した不具合(錆び、塗装、プラスチックの自然退色、ホースのひび割れ、安全バルブ、電装部品など)
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象(音、振動、微量な水もれ、オイルのにじみなど)
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合、故障
- ・薬品、塩害などに起因する不具合、故障
- ・水質などに起因する詰まり、劣化、消耗、傷

■次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・清掃、点検、調整、定期点検整備、保証修理以外で使用した部品、輸送費、宿泊費、出張費など
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さおよび損失など(休業損失、商業損失など)
- ・洗浄対象物に損傷、破壊、変色などが生じた場合の補修費用
- ・正しく操作をせずに負ったケガの治療費用

保証の適用

この保証書と、販売店からの納品書または領収書をご提示ください。

ご提示いただけない場合、保証は適用出来ません。

この保証は、日本国内で使用される弊社製品のものに適用されます。

海外へ持ち出す場合、また海外で使用したことによる不具合・故障は保証の適用といたしません。

保証修理の受け方

保証修理を希望される場合は、業務用製品コールセンターへご連絡ください。

保証適用可否の判断は、ケルヒャー エンジニアによる検査後にご連絡いたします。

保証書 お客様情報

機種名	IB 10/15 L2P Advanced
シリアル番号 (製造番号)	
会社名	
部署名	
ご担当者名	
日中通じる 電話番号	
FAX番号	
郵便番号	
ご住所	都・道・府・県
	郡・市
	町・村
	丁目 番地 号

切り取り線

切り取り線
